

施策分析シート（令和2年度）

No1

施策名	高齢者の住まいの確保	施策No	02-05	部課名	福祉部福祉推進課
				課長名	吉野 内線 2610

関連部課名	高齢者福祉課、介護保険課				
-------	--------------	--	--	--	--

行政評価	分野	I	生涯健康都市
事業体系	政策	02	高齢者や障がい者が安心して暮らせる社会の形成

目的 高齢者の多様な住まい、住まい方を実現するとともに、様々な地域資源を活用しながらサービスを包括的に提供する「地域包括ケアシステム」により、高齢者がいつまでも住み慣れた地域において、安心して生活を継続できるような環境を整備する。

指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文
		29年度	30年度	元年度	
①	福祉の充実度	3.08	3.05	3.18	お住まいの地域では、高齢者や障がい者への福祉が充実していると感じますか？
②					
③					
④					

  

標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		29年度	30年度	元年度	2年度見込み	目標値(8年度)	
①	主な高齢者等施設(カ所)	31	31	35	38	39	特養、都市型軽費、認知症GH、有料老人ホーム、高齢者住宅の施設数
②	特別養護老人ホーム入所待機者数(要介護度4・5)	129	136	110	110	100	年度末現在 在宅もしくは介護療養型施設入所者数
③	特別養護老人ホームの施設数 定員(ベッド)数	7(590)	7(590)	7(590)	7(599)	7(599)	年度末現在
④	都市型軽費老人ホームの施設数 定員(ベッド)数	5(79)	5(79)	6(99)	6(99)	6(99)	年度末現在
⑤							

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	30年度	元年度	差額		30年度	元年度	差額	
行政費用	給与関係費	27,812	25,197	▲ 2,615	地方税	0	0	0
	物件費	21,342	53,119	31,777	国庫支出金	512	512	0
	維持補修費	0	7,710	7,710	都支支出金	78,571	30,207	▲ 48,364
	扶助費	190,514	205,510	14,996	分担金及び負担金	35,938	41,192	5,254
	補助費等	80,460	78,007	▲ 2,453	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	266,635	268,739	2,104	その他	256	463	207
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	958	958	行政収入合計(a)	115,277	72,374	▲ 42,903
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,759	2,106	347	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 542,885	▲ 590,304	▲ 47,419
	その他行政費用	69,640	21,332	▲ 48,308	金融収支差額(d)	▲ 1,516	▲ 633	883
	行政費用合計(b)	658,162	662,678	4,516	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 544,401	▲ 590,937	▲ 46,536
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 544,401	▲ 590,937	▲ 46,536	

貸借対照表	勘定科目			流動負債	勘定科目			
	30年度	元年度	差額		30年度	元年度	差額	
流動資産	収入未済	10,880	13,634	2,754	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	▲ 958	▲ 958	特別区債	21,117	10,041	▲ 11,076
	その他の流動資産	▲ 183,881	▲ 236,899	▲ 53,018	賞与引当金	1,197	1,135	▲ 62
固定資産	有形固定資産	7,156,240	6,973,609	▲ 182,631	その他の流動負債	0	0	0
	土地	3,638,335	3,638,335	0	固定負債	111,865	99,568	▲ 12,297
	建物	9,662,743	9,743,285	80,542	特別区債	100,259	90,218	▲ 10,041
	建物減価償却累計額	▲ 6,144,838	▲ 6,408,011	▲ 263,173	退職給与引当金	11,606	9,350	▲ 2,256
	工作物等	120,449	120,449	0	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 120,449	▲ 120,449	0	負債の部合計	134,179	110,744	▲ 23,435
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	6,869,290	6,654,504	▲ 214,786
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	6,869,290	6,654,504	▲ 214,786	
その他の固定資産	20,230	15,862	▲ 4,368	負債及び正味財産の部合計	7,003,469	6,765,248	▲ 238,221	
資産の部合計	7,003,469	6,765,248	▲ 238,221					

財務諸表に関する特徴的事項等

○行政費用は、減価償却費や扶助費の割合が高く、扶助費については養護老人ホーム事業の入所者に係る措置費によるところが大きい。なお、増減の主な理由は、南千住中部SCに係る改修等の委託料及び特別養護老人ホーム花の木ハイムに係る備品購入費の増(物件費)、東日暮里SC冷暖房工事の実施による増(維持補修費)、都市型軽費老人ホーム整備促進事業(建設事業補助金)の減(その他行政費用及び都支支出金)、養護老人ホーム措置にかかる扶助費の増、住宅改修費にかかる補助費の減である。その他収入は、地域支援事業繰入金等である。○貸借対照表に計上されている有形固定資産は、区立特養及び在宅高齢者通所SCに関するものである。

## 施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>○令和2年4月1日現在、荒川区の高齢化率は23.08%となっている。</p> <p>○国土交通省の調査によると、民間賃貸住宅の家主7割が「高齢者の入居には抵抗がある」と回答している。</p> <p>○令和2年3月末現在で、特別養護老人ホームの入所待機者数が456人となっている。そのうち、特に入所の必要度が高い要介護4・5で在宅もしくは介護療養型施設に入所している方は令和2年3月末現在111人となっている。</p> <p>○「第8期荒川区高齢者プラン策定のためのアンケート報告書」では、現在の住まいの不安として「家の中の階段の昇り降りが困難」と「家の中に段差がある」が、上位項目となっている。</p>
課題	<p>○在宅での介護が厳しい方の高齢者施設への入所希望は依然として多く、施設の定員が足りていない状況がある。</p> <p>○団塊の世代が後期高齢者となる2025年には、施設入所希望者の大幅な増加が見込まれ、介護予防事業の積極的な展開を図りつつも、入所施設の不足が予想される。</p> <p>○一方で、大型の高齢者施設の整備に当たっては、用地確保が容易でなく、新規施設の建設は難しい状況にある。</p> <p>○区立の特養ホーム及び通所サービスセンターは、介護保険法改正の影響を踏まえながら、サービスの向上、人材の確保、施設修繕などを行い、安定的な運営をしていくことが求められている。</p>
今後の方向性	<p>○高齢者が住み慣れた地域で安心した暮らしを継続できるよう、終の住みかとしての住まいの確保に努めていく。あわせて、宅地建物取引業関係団体等との連携を強化するなど、高齢者の方々の民間賃貸住宅等への円滑な入居を促進していく。</p> <p>○地域包括ケアシステムによる在宅サービスの支援に万全を期すことに加えて、都市型軽費老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅の民間主導による整備についても、必要性等を見極めながら支援していく。</p> <p>○高齢者入所施設については、認知症高齢者グループホームや特別養護老人ホームなどの待機者の状況や現状の課題等を考慮しながら、様々な可能性を検討し施設の確保に努めていく。</p> <p>○区立特養ホームについては、建設から約30年になる施設もあり、老朽化が進行していることから、新たな手法も含め改修について検討していく。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
2年度	3年度	
推進	推進	<p>住まいは、地域包括ケアシステムを構築するための重要な要素の一つであり、その確保に積極的に取り組んでいく必要があるため、推進する。</p>

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		30年度	元年度	30年度	元年度	2年度	3年度	
養護老人ホーム建設費助成	08-01-17	1,664	1,647	1,366	1,366	継続	休止・完了	令和2年度を以って助成を完了する。
区立特別養護老人ホーム経営支援補助	08-01-18	13,867	13,850	13,569	13,569	継続	継続	特別養護老人ホームは、介護報酬改定や従事職員の処遇など課題が多い。区立特別養護老人ホームの安定的な運営のために、平成20年度から準用している東京都の補助制度を継続して実施する。
特養およびサービスセンター管理運営費	08-01-19	298,033	338,503	57,599	141,401	継続	継続	施設・設備の老朽化が進んでおり、大規模修繕を順次、計画的に進めていく。
都市型軽費老人ホーム整備促進事業	08-01-22	72,745	22,778	68,274	19,966	休止・完了	休止・完了	令和元年度に定員20人の都市型軽費老人ホームが整備され、区内に計6か所（定員計99人）の施設が整備された。
民間賃貸住宅活用事業	08-03-05	10,718	11,283	9,286	9,620	継続	継続	高齢者の住環境の向上と居住空間の確保のため引き続き実施する。
養護老人ホーム措置	08-03-22	178,682	188,445	174,391	182,321	継続	継続	法定措置事務として、必要とする高齢者に適切に措置していく。
特別養護老人ホーム（措置分）	08-03-23	5,549	7,452	900	1,168	継続	継続	法定措置事務として、必要とする高齢者に適切に措置していく。
入所調整事業	08-03-29	1,740	1,503	317	491	継続	継続	入所希望者が公平な基準に従って入所できるよう調整業務を継続する。あわせて困難性の高い特養入所希望者が、より早く入所できるよう入所調整を行う。
高齢者住宅改修給付事業	08-04-02	20,233	23,608	17,458	23,158	推進	推進	介護給付制度との整合性を図りながら、高齢者の在宅生活の支援を図るために必要な事業であるため、推進する。
住宅改修費	08-04-19	54,931	53,608	54,931	53,159	継続	継続	法に基づく必須事務事業であり、利用者サービスに直接関わるものであるため、継続して実施する。
合計		658,162	662,677	398,091	446,219			